

令和6年度 我孫子南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年	実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		
			国語	数学	国語	数学	
3年	学校	84	45	39	6.3	20.8	
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5	
	4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年	実施月日	生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)					
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語	
3年	学校	76	57.1	42.0	39.3	41.6	44.8	8.3	6.4	20.4	7.8	11.1	
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.3	6.5	
		大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9

※ 3年生の理科はC問題を選択

令和6年度 我孫子南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○中学生チャレンジテスト(3年生)

<国語>

全体の平均点は大阪府と比較して、-8.1点であった。

・各領域の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「言葉の特徴や使い方」に関する領域において、-2.3点であった。

「情報の扱い方」に関する事項において、-0.5点であった。

「我が国の言語文化」に関する事項において、-1.9点であった。

「話すこと・聞くこと」領域において、-1.0点であった。

「書くこと」領域において、-1.8点であった。

「読むこと」領域において、-2.3点であった。

・評価の観点別平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「知識・技能」において、-4.5点であった。

「思考・判断・表現」において、-5.1点であった。

・問題形式別の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「選択式」において、-4.4点であった。

「解答式」において、-2.7点であった。

「記述式」において、-2.0点であった。

<社会>

全体の平均点は大阪府と比較して、-8.4点であった。

・各領域の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「地理的分野」に関する事項において、-5.8点であった。

「歴史的分野」に関する事項において、-1.8点であった。

・評価の観点別平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「知識・技能」において、-5.6点であった。

「思考・判断・表現」において、-2.8点であった。

・問題形式別の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「選択式」において、-6.1点であった。

「解答式」において、-1.8点であった。

「記述式」において、-0.4点であった。

<数学>

全体の平均点は大阪府と比較して、-9.8点であった。

・各領域の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「数と式」に関する事項において、-3.9点であった。

「図形」に関する事項において、-1.5点であった。

「関数」に関する事項において、-2.4点であった。

「データの活用」に関する事項において、-1.9点であった。

・評価の観点別平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「知識・技能」において、-7.5点であった。

「思考・判断・表現」において、-2.2点であった。

・問題形式別の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり

「選択式」において、-3.1点であった。

「解答式」において、-6.2点であった。

「記述式」において、-0.5点であった。

令和6年度 我孫子南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

<理科> ※3年生の理科は、C問題を選択

全体の平均点は大阪府と比較して、-10.7点であった。

- ・各領域の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり
「エネルギー」に関する事項において、-0.8点であった。
「粒子」に関する事項において、-2.3点であった。
「生命」に関する事項において、-5.4点であった。
「地球」に関する事項において、-2.1点であった。
- ・評価の観点別平均点(大阪府比較)は、以下のとおり
「知識・技能」において、-7.1点であった。
「思考・判断・表現」において、-3.5点であった。
- ・問題形式別の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり
「選択式」において、-6.8点であった。
「解答式」において、-3.5点であった。
「記述式」において、-1.0点であった。

<英語>

全体の平均点は大阪府と比較して、-8.8点であった。

- ・各領域の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり
「聞くこと」に関する領域において、-2.4点であった。
「読むこと」に関する事項において、-3.5点であった。
「書くこと」領域において、-3.0点であった。
- ・評価の観点別平均点(大阪府比較)は、以下のとおり
「知識・技能」において、-4.0点であった。
「思考・判断・表現」において、-4.9点であった。
- ・問題形式別の平均点(大阪府比較)は、以下のとおり
「選択式」において、-7.0点であった。
「記述式」において、-1.8点であった。

<課題>

大阪府との比較から、各教科全体の平均点が8.1点から10.7点下回っている。積み上げ型教科の数学、英語は、50点未満の割合が50~60%以上を占めていることから、学習の積み残し、基礎学力の定着に課題がみえる。そのために、ICTの活用や放課後学習会を充実させ、個別最適な学びが行える環境を整えたい。また、小学校と連携して学習の積み残しを解消するだけでなく、系統立てた指導方法の確立をめざしたい。